

基調講演：「イノベーション（知的創造）のプラットフォーム」

財団法人常陽地域研究センター研究参与

埼玉大学地域共同研究センター客員教授 久野 美和子氏

地域を取り巻く現状と課題

●地域格差・景気変動

- H14 年 2 月～H19 年末までの景気回復の特徴
→ 製造業（特に自動車産業）の新設投資が活発
- サプライムショック以降の景気停滞、資源・食料価格高騰、金融不安
- 中小企業は真っ先に景気悪化の影響を受けている

●グローバル化

- 欧米・東アジア域内の工程間分業の進展～三角貿易構造

●新経済成長戦略

- 産業構造の変化
90 年代：自動車・家電 → 03 年頃～：国内・海外の最適生産体制
→ 2010 年頃：燃料電池・情報家電・ロボット・コンテンツ

イノベーション（知的創造）のプラットフォーム

●H20.7.2 経済財政諮問会議専門調査会報告「構造変化と日本経済」

●人材が育ち、縦割りを越えてヨコに動く

- イノベーションのプラットフォーム：産業クラスター
- イノベーションの連鎖
(茨城・広域つくばでの進捗例)：量子ビームプロジェクト、レアメタル・リサイクル・プロジェクト

●革新を担う企業が多数生まれる（繋がり力がポイント）

- ①自社の強みを活かし、戦略的に成長・発展する中小企業
- ②組み合わせー補完（繋ぐ）：新連携（茨城県は 4 件）
- ③IT ともの作りの融合化（デジタル巧）
- ④国内中小企業・先端技術で量産化に挑む
無人化・全自動化（高品質・低コスト・量産）
- ⑤農業分野の革新的取り組み（地域資源）
- ⑥土木・建設分野の革新的取り組み

●日本のそれぞれの地域が世界とダイレクトに繋がる

- 国内・海外クラスター間のメリット

●世界的な課題に貢献する

- 「環境・省エネ・新エネ、健康・安全・安心等」に貢献
- 既存中堅中小企業ベンチャー企業が頑張る
つくば発「市場創発型」ベンチャー企業は 160 社強

つくばイノベーション創発にむけて

●つくばイノベーション創発のために

- 「産官学金・支援機関の役割と取り組み」「地域力連携拠点」の整備
- 「つくば地域・イノベーションプラットホーム」の構築
地域密着型支援とグローバルの両立
つくば＝国立研究機関の集積、支援機関の立地
ソフト資源 ネットワーク組織
- 繋ぐ人材の存在とグローバルクラスター化
繋ぐ人材 密度の高いコミュニケーションと信頼関係
産官学・金ネットワークによるトータル支援

Q&A

- **Q.** うまくいく連携においてリスクと利益のシェアリングや機密事項の取り扱いをどのようにするべきか。
- **A.** 成功している連携体は、長い信頼関係を基盤として存在している。また、真に機密事項としたい事業等は連携を取らないこと。連携を組む際には、リスクを十分に分担できることを念頭に組織体を考えるべき。

以 上